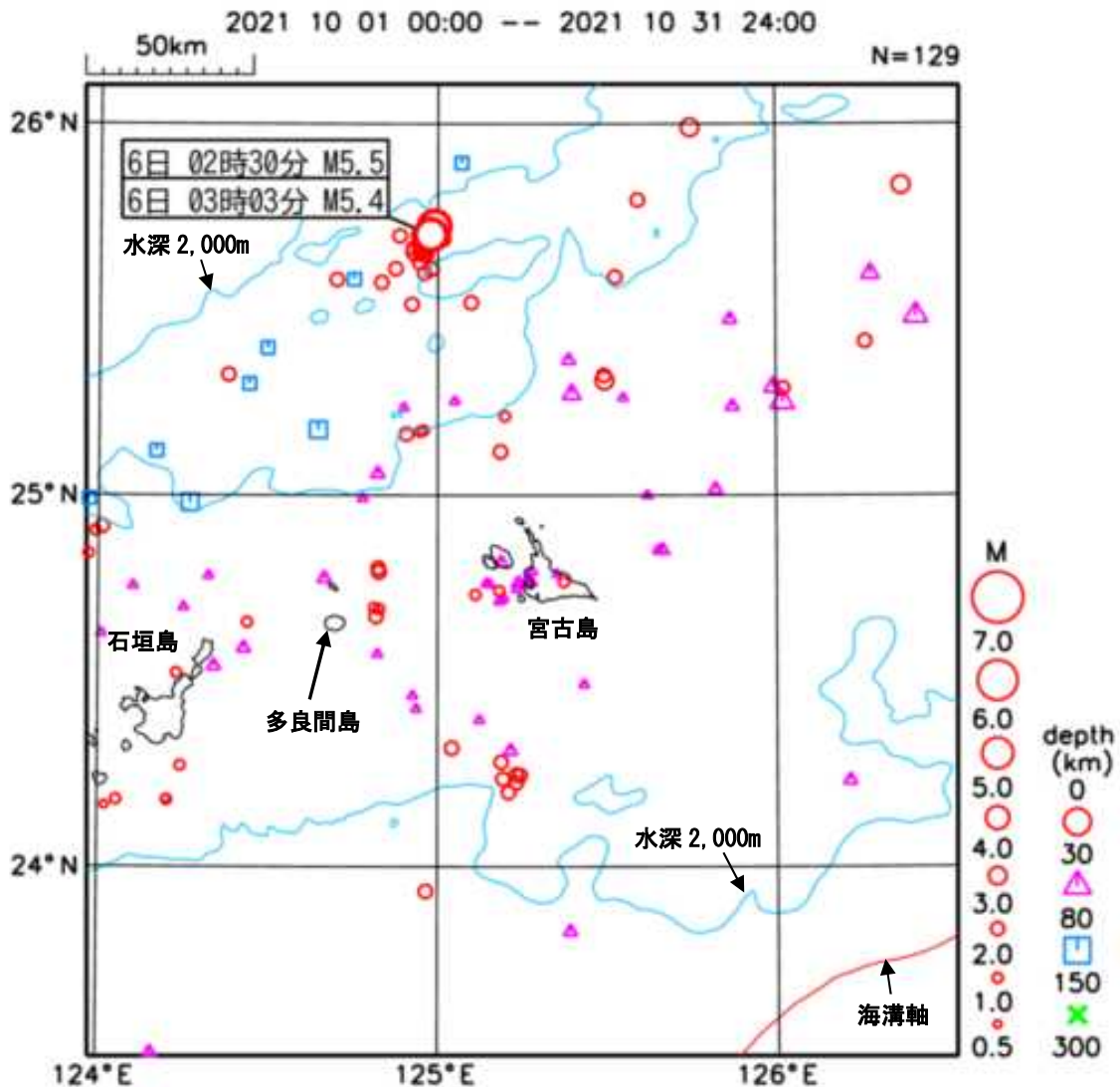


宮古島地方の地震活動図

令和3年（2021年）10月

宮古島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ

N：地震の回数（マグニチュード0.5以上の回数です）

宮古島地方で震度1以上の地震を観測した場合は、吹き出しで示しています。

【概況】

今期間（10月）、宮古島地方で観測した地震は129回（9月は154回）で、震度1以上を観測した地震は3回（9月は1回）でした。

6日02時30分に宮古島北西沖で発生した地震（M5.5、深さ24km）により、宮古島から多良間島にかけて震度2～1を観測しました。この震央付近では、6日03時03分（M5.4、深さ29km）にも宮古島市で震度2を観測する地震が発生しました。

24日14時11分に台湾付近で発生した地震（M6.3、深さ73km）により、多良間島から与那国島にかけて震度2～1を観測しました（震央分布図範囲外、別紙参照）。

宮古島地方で震度1以上を観測した地震の表(期間:10月1日～31日)

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2021年10月06日02時30分 沖縄県	宮古島北西沖	25° 43.4' N	124° 59.4' E	24km	M5.5
震度 2 :	宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間, 宮古島市伊良部前里添 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市城辺福西*, 宮古島市上野支所* 宮古島市平良西里*				
震度 1 :	多良間村塩川, 宮古島市上野新里				
2021年10月06日03時03分 沖縄県	宮古島北西沖	25° 42.1' N	124° 58.7' E	29km	M5.4
震度 2 :	宮古島市平良下里, 宮古島市平良池間, 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市平良西里*				
震度 1 :	多良間村塩川, 宮古島市城辺福北, 宮古島市上野新里, 宮古島市伊良部前里添 宮古島市城辺福西*, 宮古島市上野支所*				
2021年10月24日14時11分 沖縄県	台湾付近	24° 28.6' N	121° 43.6' E	73km	M6.3
震度 2 :	石垣市新栄町*, 石垣市美崎町*, 与那国町祖納, 与那国町久部良, 与那国町役場* 竹富町黒島				
震度 1 :	多良間村塩川, 石垣市登野城, 石垣市新川, 石垣市平久保, 石垣市伊原間* 竹富町大原, 竹富町波照間, 竹富町上原小学校, 竹富町上原青年会館*				

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※宮古島地方の震度観測点のみ記載しています。

※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国家間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

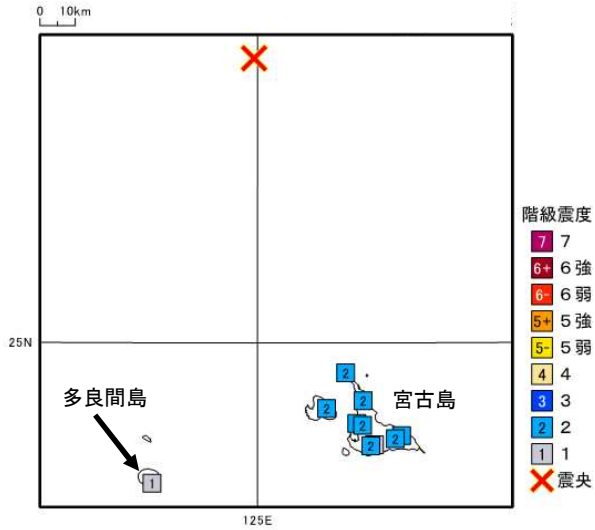
※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

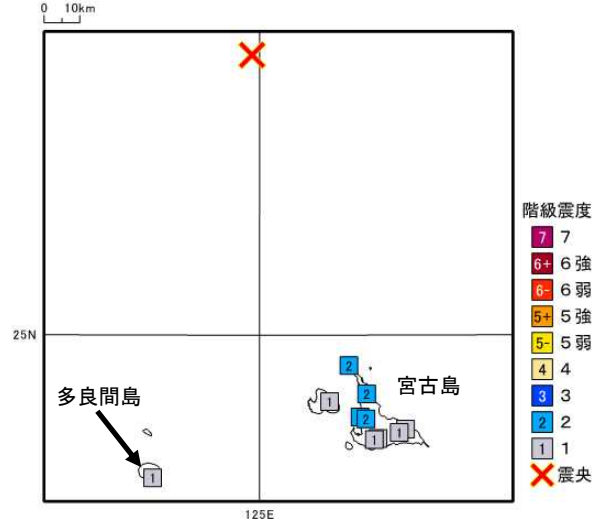
※ データについては精査により、後日修正することがあります。

宮古島地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図

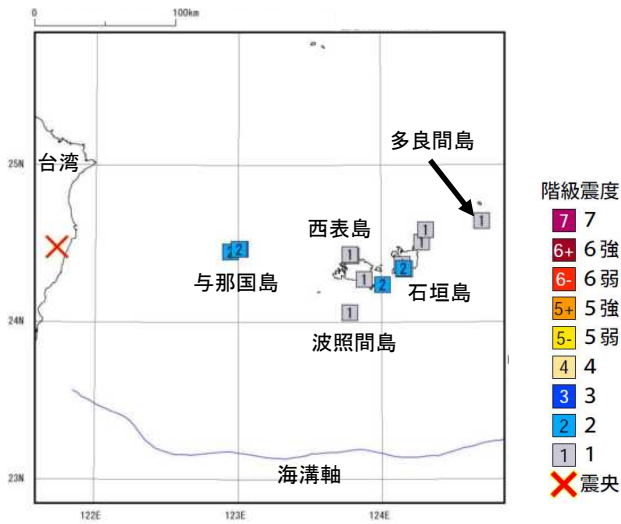
2021年10月6日02時30分 宮古島北西沖の地震の震度分布図



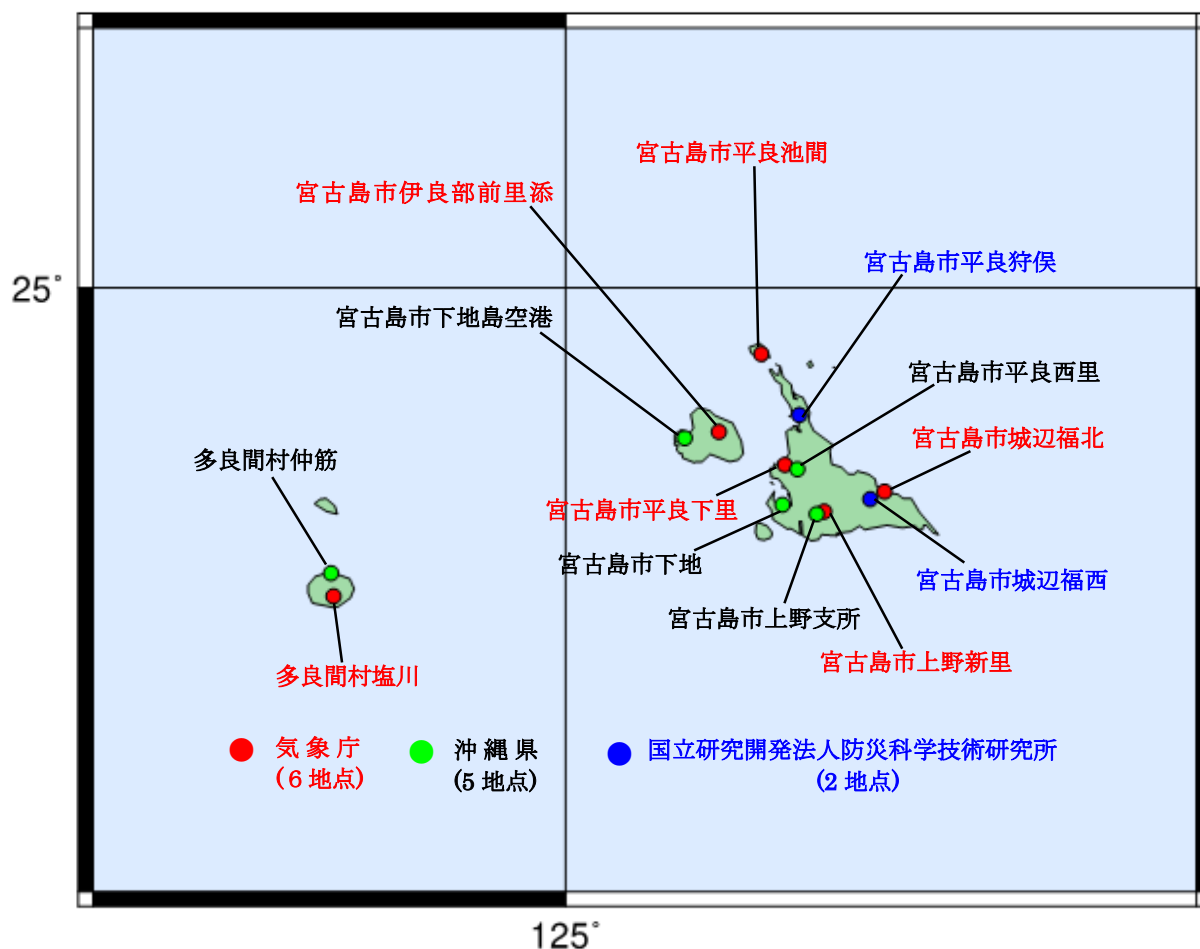
2021年10月6日03時03分 宮古島北西沖の地震の震度分布図



2021年10月24日14時11分台湾付近の地震の震度分布図



宮古島地方の震度観測地点



○ 宮古島地方の地震活動図

URL <https://www.data.jma.go.jp/miyako/topix/earthquake.html>

過去の地震活動は宮古島地方気象台のホームページで閲覧できます。

本件に関する問合せ先 宮古島地方気象台 電話0980-72-3054



○ 防災一口メモ (沖縄気象台HP)

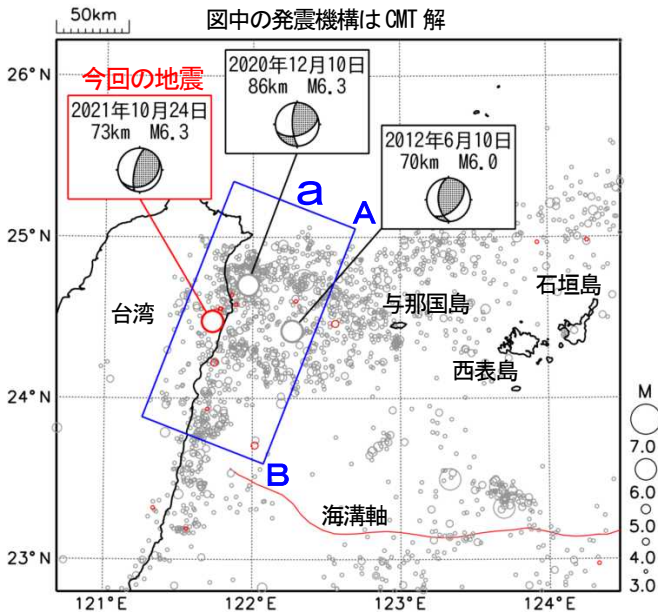
URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/know/memo/sougou.html>

季節ごとに注意すべき自然現象や、防災情報の利活用方法について解説しています。

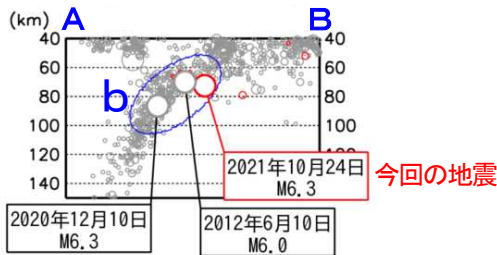
10月24日 台湾付近の地震

震央分布図

(2009年9月1日~2021年10月31日、
深さ40~150km、 $M \geq 3.0$)
2021年10月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解

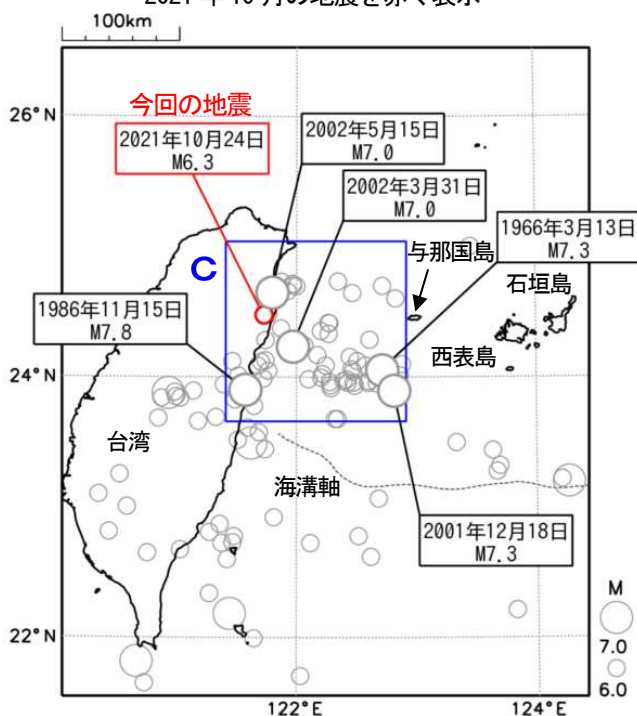


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1960年1月1日~2021年10月31日、
深さ0~100km、 $M \geq 6.0$)
2021年10月の地震を赤く表示

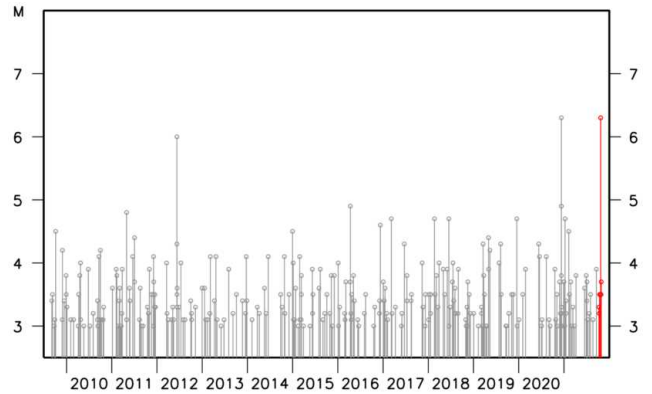


1986年11月15日の地震の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による。その他の震源要素は気象庁による。

2021年10月24日14時11分に台湾付近の深さ73kmでM6.3の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度2）が発生しました。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。発震機構 (CMT解) は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型です。

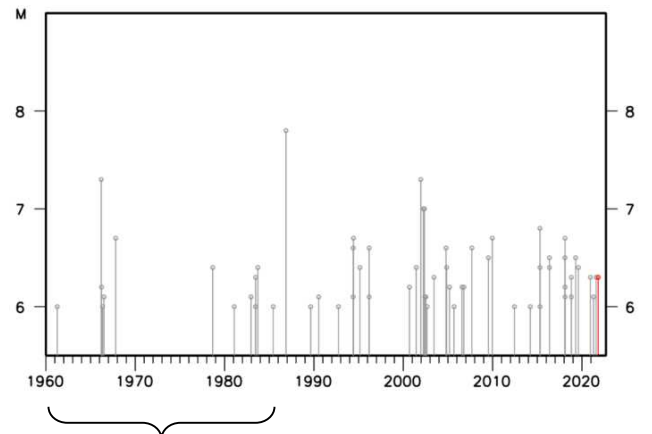
2009年9月以降の活動をみると、この地震の震源付近(領域b)では、2012年6月10日にM6.0の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）が発生するなど、M5.0以上の地震が時々発生しています。

領域b内のM-T図



1960年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1986年11月15日にM7.8の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）が発生しました。この地震により、宮古島平良で30cmの津波を観測しました。また、1966年3月13日のM7.3の地震では、与那国島で死者2人や家屋の全半壊等の被害が発生しました(被害は、「日本被害地震総覧」による)。

領域c内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)